

## 1 1. 桜島地域

### (1) 地域の概況

#### ◆地域の構成

錦江湾に浮かぶ火山活動が活発な桜島にあり、地域の大半を占める溶岩原、山林及び原野と、海岸線に沿った帯状の住宅地で構成されています。

#### ◆人口

人口は、約 3 千 6 百人で減少傾向にあり、老年人口比率は 49.5%と全市で最も高い状況です。

#### ◆土地利用の状況

地域の大半は溶岩原や原野などの「樹林地等」であり、その中に「農地」を含む農村集落が分布しており、桜島港などの「道路・交通施設用地」、海岸沿いの「住宅用地」が分布しています。

### (2) 基本目標毎の現況と課題



#### コンパクトで暮らしやすい都市

生活利便施設が桜島港周辺の一部に限られており、買い物や医療施設の利便性に対する満足度が低いことから、各拠点への生活利便施設の誘導が必要です。



#### 快適で移動しやすい都市

24 時間運航の桜島フェリーにより、市街地へのアクセスが確保され、幹線道路などの整備も進んでいますが、公共交通の利便性や道路整備に対する満足度が低いことから、引き続き、公共交通の利便性の向上や幹線道路などの整備促進が必要です。



#### にぎわいと活力のある都市

桜島・錦江湾ジオパークの主要なエリアであり、桜島港周辺には、国民宿舎レインボー桜島や火の島めぐみ館などの観光・レクリエーションの拠点となる施設が集約されていますが、一部、低未利用土地も見られることから、これらを生かしたまちづくりが必要です。



#### 安心・安全な都市

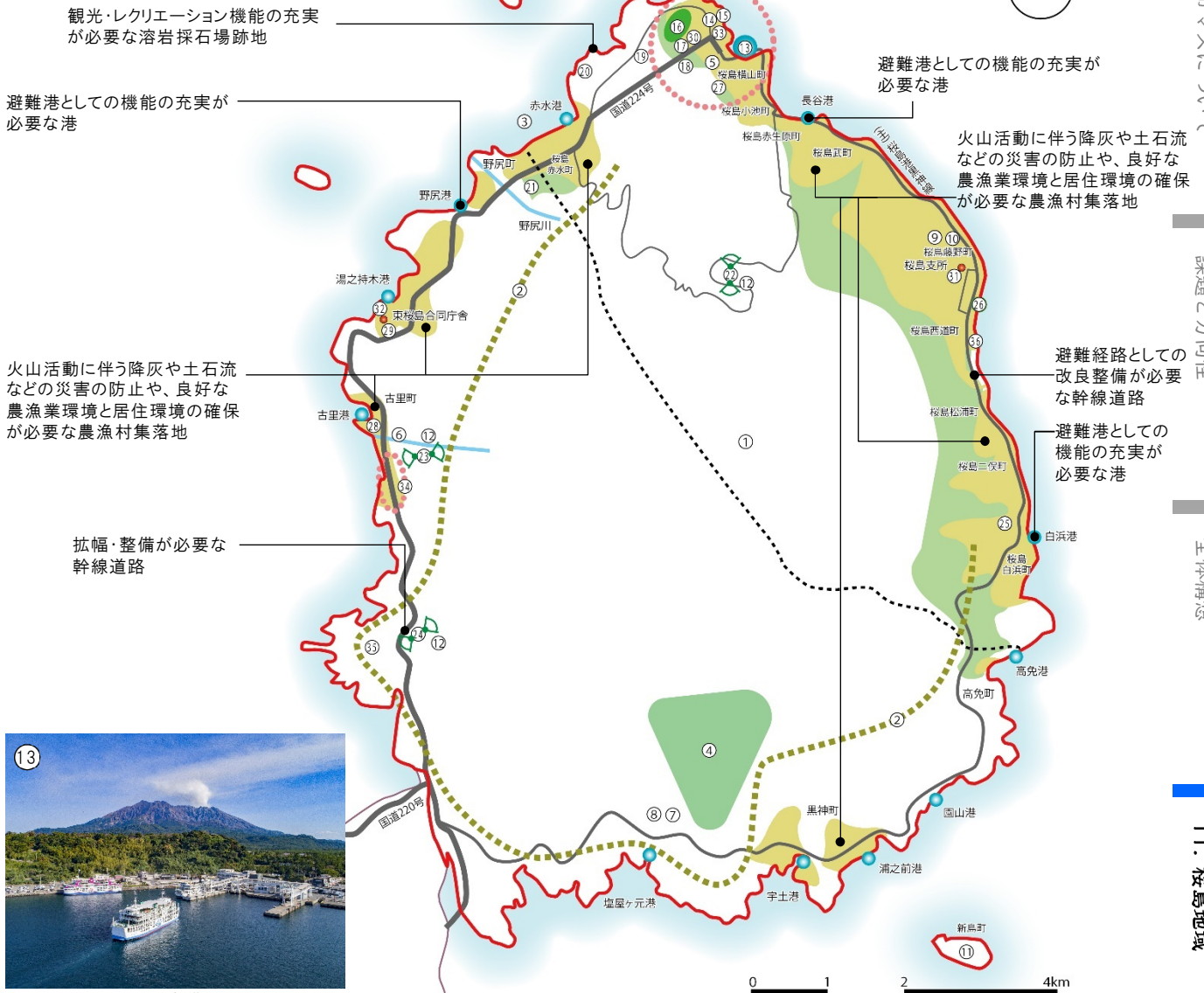
桜島の火山活動に伴う降灰や土石流などの災害が発生しやすい環境にあることから、今後も、日常的な降灰除去対策を図るとともに、火山防災対策を踏まえた施設整備などが必要です。



#### 自然・歴史・文化を生かした都市

地域のほぼ全域が霧島錦江湾国立公園に指定されており、自然海岸や溶岩原などの桜島独自の貴重な自然環境を有していることから、これらを保全するとともに、良好な景観資源としての活用が必要です。

●桜島地域のまちづくりの資源と主要課題図



【地域の資源】

自然	①火山活動が続く、鹿児島市のシンボルである桜島 ②天然観光資源として貴重な溶岩原 ③良好な漁業環境と自然海岸が多く残されている海 ④地獄河原
歴史 (史跡など)	⑤月読神社 ⑥林美美子文学碑 ⑦火山噴火の痕跡が見られる黒神埋没鳥居及び門柱 ⑧腹五社神社
まち並み ・景観	⑨景観重要建造物に指定された藤崎家武家門 ⑩景観重要樹木に指定された藤野地区のアコウ群 ⑪新島 ⑫湯之平展望所、古里公園、有村溶岩展望所からの眺望
公共施設等	⑬桜島港フェリーターミナル ⑭溶岩なぎさ公園 ⑮桜島海づり公園 ⑯桜島溶岩グラウンド、桜島多目的広場 ⑰桜島総合体育館 ⑱鳥島展望所 ⑲道の駅「桜島」火の島めぐみ館 ⑳赤水展望広場 ㉑桜島国際火山砂防センター ㉒湯之平展望所 ㉓古里公園 ㉔有村溶岩展望所 ㉕さくらじま白浜温泉センター ㉖クロマツ親水公園 ㉗桜島自然恐竜公園 ㉘改新交流センター ㉙東桜島公民館 ㉚桜島公民館、高齢者福祉センター桜島 ㉛桜島地区保健センター ㉜高齢者福祉センター東桜島
その他	⑳国民宿舎レインボー桜島 ㉑古里温泉 ㉒有村溶岩採石場跡地 ㉓西道海水浴場



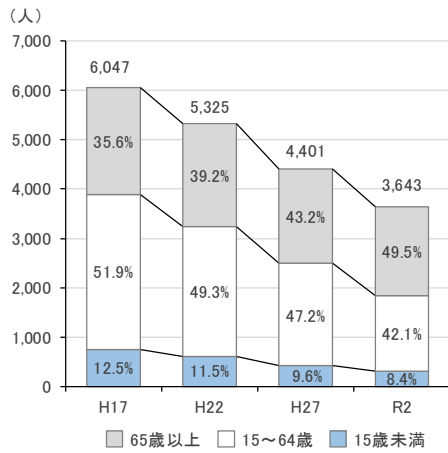
▲ 湯之平展望所



▲ 溶岩なぎさ公園

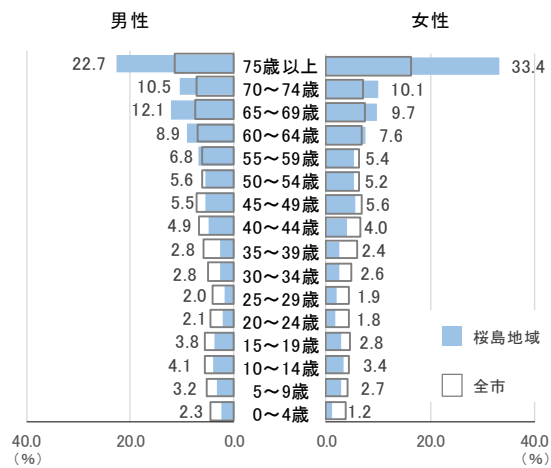
### 第3章 地域別構想

#### 人口と年齢構成の推移



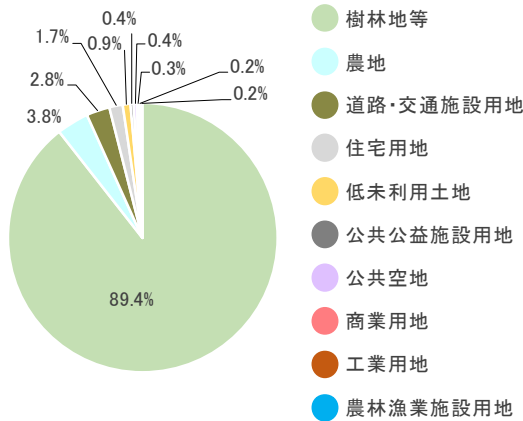
資料) 国勢調査

#### 人口年齢構成



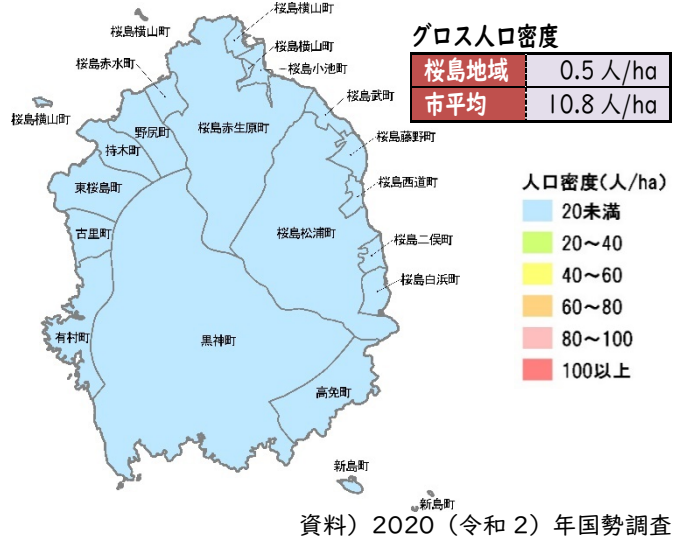
資料) 2020 (令和2) 年国勢調査

#### 土地利用面積の割合



資料) 2018 (平成30) 年度都市計画基礎調査

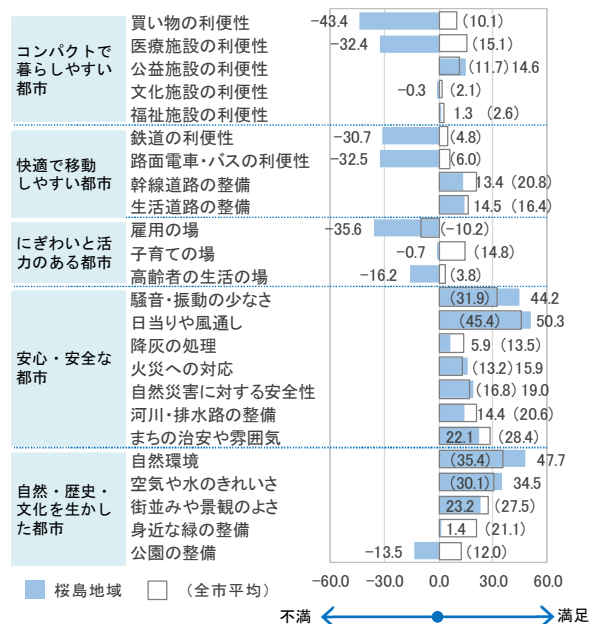
#### 町丁目別人口密度



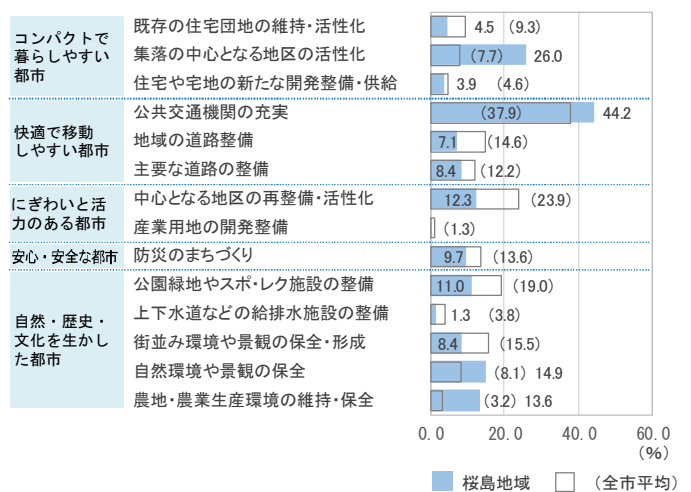
資料) 2020 (令和2) 年国勢調査

### 市民意識調査

#### 地域の評価



#### まちづくりの優先事項



資料) 2017 (平成29) 年市民意識調査

### (3) 地域のまちづくり構想



#### 桜島支所周辺の拠点機能の充実と東桜島合同庁舎周辺などにおける生活利便性の確保

- 桜島支所周辺の地域生活拠点では、拠点機能の充実を図ります。
- 東桜島合同庁舎や桜洲小学校周辺の集落核では、小～中規模の店舗などの誘導による生活利便性の確保を図ります。
- 豊かな田園環境を有する農村集落では、良好な集落環境の保全を図ります。



#### 国道224号の整備促進などによる交通の円滑化や公共交通機関の連携による利便性の向上

- 国道224号の整備促進などによる道路交通網の強化を図ります。
- 生活道路の整備による交通の円滑化などを図ります。
- 桜島フェリーと陸上交通機関との連携など、公共交通の利便性の向上を図ります。



#### 広域的な観光・レクリエーションゾーンとしての魅力の向上

- 桜島・錦江湾ジオパークにおける活動など、体感的な観光・レクリエーションの充実を図ります。
- 豊かな自然環境を生かし、クリエイティブ産業やサテライトオフィスの立地に向けた土地利用の誘導を図ります。
- 桜島総合体育館や桜島溶岩グラウンドなどを活用し、イベントやスポーツを通じた交流を促進します。



#### 火山防災対策の充実による桜島と共生したまちづくりの推進

- 土砂災害への備えが必要な地域では、土砂災害対策を図ります。
- 砂防施設の整備促進や避難体制の充実による火山防災対策を図ります。
- 降灰の早期除去体制を維持し、快適な生活環境の確保を図ります。
- 大規模噴火時においても速やかに復旧・復興できるまちづくりを推進します。
- 緊急輸送道路を中心とした災害に強い交通ネットワークの形成を図ります。



#### 桜島や錦江湾などの豊かな自然環境の保全・活用

- 市民との協働による緑化の促進などによる潤いある都市空間の形成を図ります。
- 公園の再整備などによる広く市民に親しまれる公園の充実を図ります。
- 霧島錦江湾国立公園内の自然海岸や溶岩原などの桜島独自の貴重な自然環境の保全を図ります。
- 地域の特性を生かした農業振興やグリーン・ツーリズムを推進します。
- 桜島や錦江湾などの雄大な自然環境の活用を図ります。

(4) 地域の整備方針

◆整備方針（ゾーン毎）

- 田園集落ゾーン
  - 桜島支所周辺の地域生活拠点では、拠点機能の充実に向けて、生活利便施設の立地誘導を検討します。
  - 地域東部では、良好な集落機能を維持するため、「市街化調整区域における住宅建築等に関する条例」の適切な運用を図ります。
  - 東桜島合同庁舎周辺の集落核では、小～中規模の店舗などの生活利便施設を誘導するため、都市計画提案制度による地区計画の活用や開発許可の運用見直しなどを検討します。
  - 桜洲小学校周辺の集落核では、小～中規模の店舗などの生活利便施設の立地誘導を検討します。
  - 地域西部では、農漁業生産環境と調和した土地利用を誘導するため、都市計画区域などの指定について検討します。
  - 桜島港周辺では、観光・レクリエーション機能の充実に向けた既存施設や低未利用土地の活用を図ります。
  - クリエイティブ産業やサテライトオフィスの立地を誘導する方策を検討します。
  - 農漁村集落の生活環境を改善するため、道路などの計画的な整備を図ります。
  - 避難港としての機能の充実に向けて、野尻港や白浜港などの改修を推進します。
  - 桜島港周辺では、桜島の玄関口にふさわしい街並みの形成に向けて、景観形成重点地区の指定について検討します。
- 自然環境保全・活用ゾーン
  - 桜島や錦江湾などの雄大な自然環境の保全・活用を図ります。
- 自然公園・森林ゾーン
  - 自然公園法に基づき、地獄河原などの桜島独自の貴重な自然環境の保全を図ります。

